

2015. **10**月

品質月報

Monthly Quality Report

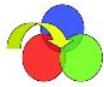
10月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
独VW,排ガス不正でブランド失墜

PAGE 5 ……品質状況
市場不良率推移 クレーム発生状況



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

平成26年10月1日
サンシングループ
代表

石井 宏宗



今月のトピックス

独VW,排ガス不正でブランド失墜

■試験時だけ排ガス減らす

米環境保護局(EPA)が18日、VWのディーゼル車で排ガス試験の時だけ排ガスを減らす違法なソフトウェアが使われていたと発表し、発覚した。対象は2009年～15年に発売されたVWの「ジェッタ」「ゴルフ」「ビートル」、傘下の独アウディ「A3」と、14～15年に発売のVW「パサート」のディーゼル車の5車種。



VWによると、VWグループのディーゼルエンジン「EA189」を搭載した車両で、排ガスの試験の結果と実際の走行時の排ガス量のデータが異なるという。このエンジンを搭載した車両は全世界で1100万台が販売されている。対策費用の引当金として65億ユーロ(約8700億円)を特別損失に計上するとも決めた。

■業績の悪化避けられず

米メディアは制裁金が最大180億ドル(約2兆1600億円)に上ると報じる。VWも不正を認め、刑事訴追の可能性もある。VWの14年12月期の純利益は108億4700万ユーロ(約1兆4750億円)。

■急成長のひずみか

ヴァンターコーン氏が社長に就任した2007年に「18年に1000万台」という目標を掲げ中国での生産能力を拡大し、高級車や商用車のブランドも次々に傘下に収めた。14年には1千万台に達し、就任時から売上高はほぼ2倍。順調に見えた。ところが、その背後でコストは膨らみ続けた。14年12月期の売上高営業利益率は6%トヨタ自動車(15年3月期)の10%に劣る。

■他社への波及懸念も

ディーゼル車はドイツの環境技術の象徴でもあっただけに、不正でイメージが悪化する事態を各社は恐れる。米メディアによると、EPAは独BMWや独ダイムラー、米国車などへの調査対象の拡大を検討している。

「信用」

今まで築き上げてきた信用が一気に失墜した事例である。消費者を騙し続けてきた損害は、金額でなく「信用の失墜」の方がはるかに大きい。これから先、信頼回復のために、どのような行動をとっていかかが注目されます。ユーザー視点で先々の行動計画を決めて実行していかないと、場当たりの行動では取り組みに振れが発生し、信頼も回復出来ないでしょう。

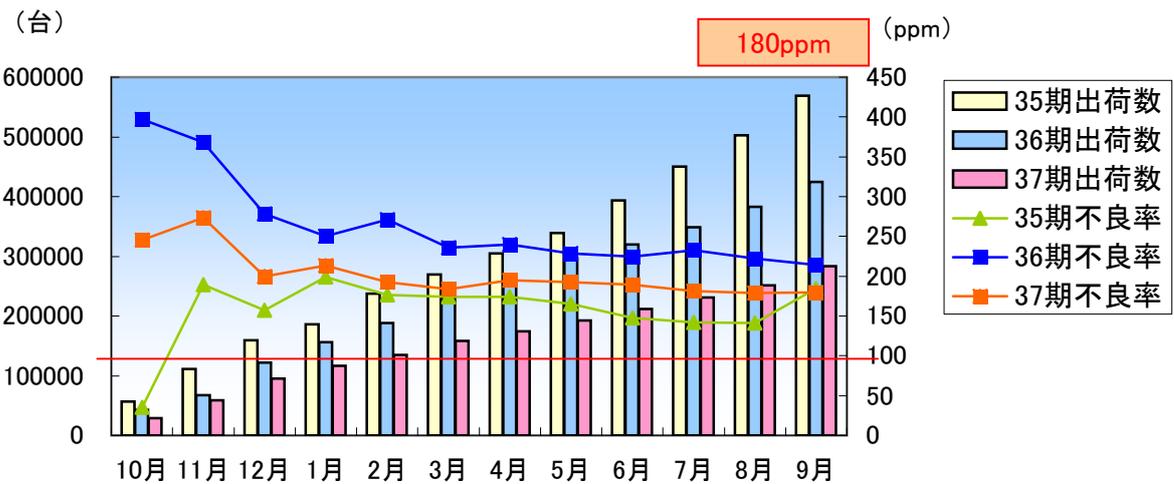
今月の品質状況

37期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

37期の累計不良率は180ppmです。
市場不良累計は 51件

市場不良率(PPM)



クレーム発生推移

「クレーム」の定義:当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

対前年度クレーム件数推移(37期)

